

京都市：当事者に寄りそってごみ屋敷解決に尽力

横浜市でも条例化に

一人暮らしなどでごみを片付けることが出来ない場合がほとんどです。

自宅の敷地内に大量のごみなどをためこむ、いわゆるごみ屋敷では、悪臭や害虫の発生、通行障害などが問題になっています。一方、その当事者は、認知症や精神障害、高齢、一人暮らしなどで

「ごみ屋敷とは？」



京都市保健福祉局保健福祉総務課の担当係長（手前）から聞き取りを行う日本共産党横浜市議団（1月20日）

昨年全国で始めて実施した行政代執行の前に、担当職員は

「粘り強い訪問」

ごみ屋敷状態の解決とともに、当事者が抱える諸問題を解決するために、寄りそった支援に重点を置いています。

職2名と保健師5名を配置し、区役所とともに解決に取り組んでいます。

行政代執行の京都

京都市では2014年にごみ屋敷解決の対策条例を制定。保健福祉総務課に専任の事務

を視察しました。そこですでに取り組みを行っている京都市と大阪市

横浜市では、今年中に条例制定の動きがあります。

大阪市で 校長先生「教育的効果有り。みんなで食べることで、ご覧のとおりみんな笑顔の昼食時間です。」



1月21日に試食した配達式給食。二飯、糸よひ白身魚の磯辺揚げ、豚やが、風呂吹き大根、ほうれん草と白菜のふたし、雑煮、牛乳。一食あたり300円。

大阪市では、現在、業者弁当による給食選択制から段階的に全員喫食に移行し、今年4月からは全校全員喫食になります。

市立中学校を訪問し、給食を試食しました。食事中を見学し、中学生の笑顔が印象的でした。大阪市は

大阪市ではごみ屋敷の苦情などが寄せられると、区の担当職員と環境局と福祉局が連携して対策会

大阪市では

126回訪問し61回会って片付けるよう働きかけました。解決に至らない結果、近隣住民への危険があり代執行に。

議を開き、役割分担や進め方を確認して、解決に向けて取り組みを始めます。審議会の開催や現地の実測定ごみ撤去時の消耗品代、精神科医の派遣などの費用に予算をあてているということでした。

1月の活動から

- 相談活動**
 かけ地対策・公営住宅での水漏れ・市有地の利活用・道路上のブローク撤去・遺産相続
- 議員活動**
 1日水谷天満宮であいさつ
 4日市賀詞交換
 5日港南区出初式賀詞交換
 6日地元あいさつ

- 7日団会議常任委員会報告
 8日県生協連・建設市連新年会
 9日県韓国入合同新年会
 10日学童保育連総会新年会
 11日障害児教育研修会
 12日つうがうフルト市長と市議会議長歓迎・記念演説
 14日団会議子ども貧困対策への

- 提案要望申入れ
 16日市高校教組旗開き
 17日市心身障害者成式
 18日団会議予恵
 20日21日ごみ屋敷条例・中学校給食で京都大阪視察
 22日保育所問題でのヒアリング
 23日野庭・京が谷新年会
 25日特別支援学校視察
 28日団会議等

学校給食法に基づき、心身の成長著しい時期をサポートするとともに、生涯を通じての健康的な食生活への理解を深め、自己管理能力を養うことを目的として中学校給食を実施している」としています。

ただおかずがト

ラックで10度以下で運ばれるため生徒から「冷たい」小学校と同じにして」との声が出され、日本共産党大阪市議団は学校調理方式を求めています。吉村大阪市長が、4年以内に学校調理方式に変更すると、所信表明演説で述べたということです。なので、今後の進展が注目されます。